

組織

会長	菊地 邦彦	(東由利中学校)	事務局	宮田 幸江	(尾崎小学校)
副会長	佐々木 紀子	(尾崎小学校)		田所 史世	(本荘北学校)
	安保 朋子	(岩谷小学校)	研究部長	関口 琢也	(院内小学校)
			会計	山下 奈知	(本荘南中学校)

主な事業

令和7年度造形部総会	4/15	造形部研修会	12/11
本荘由利図工・美術の学び展	11/15~17	東北造形教育研究大会参加	7/31~8/1

研究会(事業)の記録

1. はじめに

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の表現がどうあるべきかを考察すること、また、造形教育セミナー・本荘由利図工・美術の学び展・県児童生徒美術展など、様々な形で積極的に研修することを当会の具体的な目標としている。

特に、本荘由利図工・美術の学び展は各校の造形活動の取組を紹介し合う機会であり、より幅の広い意味での情報交換の場となっている。展示された作品と名札に書かれた作者の思いをもとに、「子どもの学び紹介」という活動を通して、児童生徒の思いが生かされた表現やその表現の見方、造形活動の在り方などについて研修する活動の意義は大きい。

2. 各事業の成果

(1) 東北造形教育研究大会秋田大会への参加 (7月31日~8月1日)

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の表現がどうあるべきかを考察すること、また、造形教育セミナー・本荘由利図工・美術の学び展・県児童生徒美術展など、様々な形で積極的に研修することを当会の具体的な目標としている。

特に、本荘由利図工・美術の学び展は各校の造形活動の取組を紹介し合う機会であり、より幅の広い意味での情報交換の場となっている。展示された作品と名札に書かれた作者の思いをもとに、「子どもの学び紹介」という活動を通して、児童生徒の思いが生かされた表現やその表現の見方、造形活動の在り方などについて研修する活動の意義は大きい。

(2) 本荘由利図工・美術の学び展 (11月15日~11月17日)

本荘由利図工・美術の学び展 (11月15日~11月17日) 由利本荘市文化交流館「カダール」で開催した。テーマである「あっ、いいこと考えた」を反映した個性豊かな表現が数多く見られた。3日間で約1,300名の来場があり、多くの方々に見ていただくことができた。

出品作品の中から造形部が目指す表現を「子どもの学び紹介」として紹介した。各小・中学校の教職員及び、造形部員の熱心な取組と各校の協力で、運営面・展示内容ともにより充実した美術展となった。

来年度も、本荘由利図工・美術の学び展が学習指導要領の趣旨に則った研修の場となるように協議を重ねていき、具体的な取組を各校に発信していく予定である。

(3) 造形部研修会 (12月11日)

由利本荘市市民交流学習センター多目的ホールを会場に、県児童生徒美術展に出品する本荘由利の作品を選出する審査会として行った。造形部員にとっては、児童生徒の作品の傾向・よさ・課題について話し合う有意義な研修の場となり、今後の授業に役立つ多くの情報を得る機会となった。また、今年度も審査で選出された作品を、秋田市文化創造館にて展示することができた。